

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

型名	刃物とぎ機 STD-205H	お買い上げ日 年 月 日	保証期間 お買い上げ日より 6か月
販売店	販売証明書やレシート等を添付してください。		

- 保証内容は本製品自体の無償修理に限ります。
- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ)使用上の誤り及び不当な修理・改造による故障及び損傷。
 - (ロ)お買い上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷。
 - (ハ)一般家庭用以外(業務用、レンタルなど)に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ニ)定格時間以上のご使用、または定格時間内であっても激しい連続作業でご使用になった場合の故障及び損傷。
 - (ホ)火災・地震・水害・落雷・その他天災・異常電圧による故障及び損傷。
 - (ヘ)本書のご提示がない場合。
 - (ト)本書に販売証明書やレシート等、お買い上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書は付属品・消耗品には適用されません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
- 本書に記入のあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には当社までご相談ください。
- 保証期間経過後の修理や部品取り寄せについてはお買い上げの販売店にご依頼ください。

お客様
相談窓口

☎ 03-3252-8861

受付時間: 9:00~12:00 13:00~17:00
(土日祝日及び弊社休日を除く)

修理及び別売品の購入はお買い上げの販売店にご依頼ください。左記相談窓口では直接対応できません。あらかじめご了承ください。

SHINKO 株式会社 新興製作所

本社 〒101-0035
東京都千代田区神田紺屋町11番地
TEL: 03-3252-8861

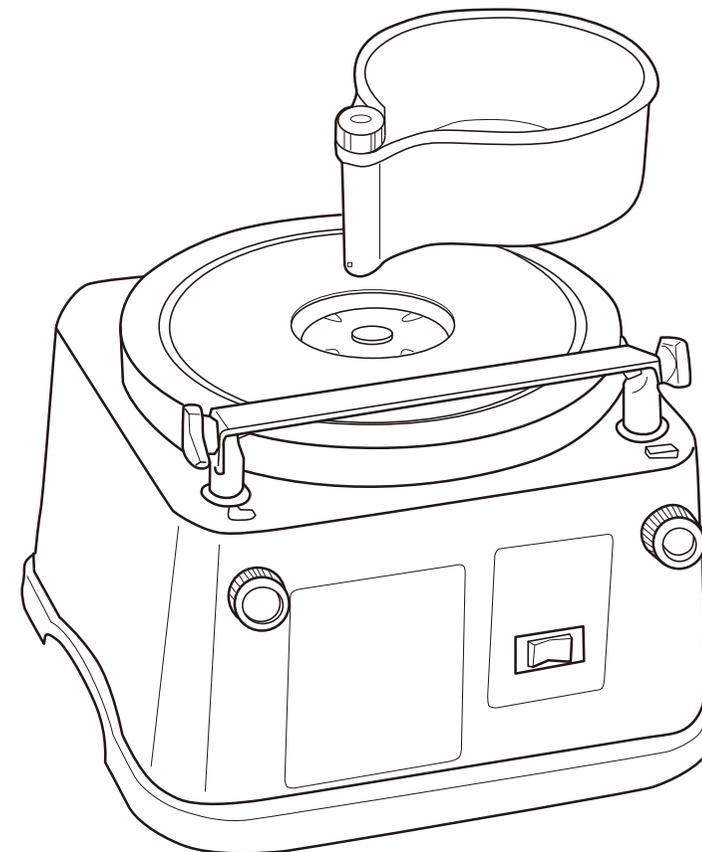
修理工場 〒340-0002
埼玉県草加市青柳6-30-9
TEL: 048-931-4151

ホームページ <https://www.shinko-ss.co.jp>



刃物とぎ機

STD-205H 取扱説明書



家庭用

本製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

このたびは刃物とぎ機をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「⚠ 警告」を必ず守って下さい。
 - ご使用前に、この「⚠ 警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
 - お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。
- ※本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

⚠ 警告

1.作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- 作業中、本工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
- 作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2.作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
- ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
- 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
- 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業員以外には近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
- 作業場の近くに作業員以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気が多い場所では使用しないで下さい。
- 感電の恐れがあり大変危険です。

⚠ 警告

3.電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
- 表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認下さい。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
- スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
- ネジがゆるんでいたたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させてください。
- 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
- 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
- スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
- 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
- コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具(スパナ、ネジ回し等)は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
- 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
- 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないでください。
- 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入れと保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用ください。
 - 使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
 - 刃物類は常に手入れをして良い切れ味でご使用ください。
 - 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くなり作業能率が悪くなります。
 - 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
 - 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
 - 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入れをしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。
- ☞前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

刃物とき機ご使用上のご注意

- 先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、本製品ではさらに次に述べる事項を守ってください。

⚠ 警告

- 電源は銘板に表示してあるAC100V電圧でご使用ください。
表示を超える電圧で使用するとモーターの破損からの故障に繋がります。
- 必ずアース(接地)してください。
故障や漏電の時に感電する恐れがあります。
- 砥石は純正品だけをご使用ください。
純正品以外の砥石ですと破損等でけがの原因になります。
- 砥石にヒビ、割れなどの異常が無いことを確認してから使用してください。
砥石は回転するのでヒビや割れから破損してしまいます。
- 水滴防止クッションは外さないでください。
水が周囲に飛び散るのを防ぐ他に万が一、砥石が割れた時に破片をガードします。
- 使用中は刃先や回転部に手や顔を近づけないでください。
いずれもけがの原因になります。
- 使用中は安全のため保護メガネを装着してください。
万が一、砥石が破損した際の破片から目を守ります。
- 刃物を砥石に強く押しつけたり、角度を起こしすぎないでください。
刃先が砥石に食い込んでけがの原因になります。
- 使用後は本機や砥石をよく乾かしてから保管してください。
湿気により本機のサビの原因になったり砥石の劣化の原因になります。
- 1回の使用時間は定格時間(20分)以内にしてください。
定格時間以上の連続使用は本機の故障の原因になります。
- 使用中、本機の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止してお買上げの販売店もしくは弊社に連絡してください。
そのまま使用していると故障やけがの原因になります。
- 〔事業者の方へ〕
砥石の交換・試運転は法、規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。
関連法令 労働安全衛生法 第59条
労働安全衛生規則 第36条
安全衛生特別教育規程 第2条

⚠ 注意

- 本機は安定した場所で使用してください。
不安定な場所だと正常に動作しないばかりか故障やけがの原因になります。
- 使用前に必ず試運転を行ってください。
砥石交換時 3分以上 通常使用時 1分以上
- 新しい砥石を取付け、初めてスイッチを入れるときは砥石の露出部から一時身体を避けてください。
砥石が破損したときにけがの原因になります。
- 刃物を取り扱う際は手袋、布などで手を保護してください。
不用意に刃物を扱うとけがの原因になります。

仕様明細

形 式 名	STD-205H
電 圧	単相100V
周 波 数	50/60Hz
電 流	1.95/1.85A
消 費 電 力	175/160W
回 転 数	380/440min ⁻¹
砥 石 寸 法	外径205×内径80×厚さ25mm
コ ー ド 長	1.5m
質 量	6.7kg
定 格 時 間	20分

※改良のため機能、形状等を変更することがあります。

延長コードのご使用ついて

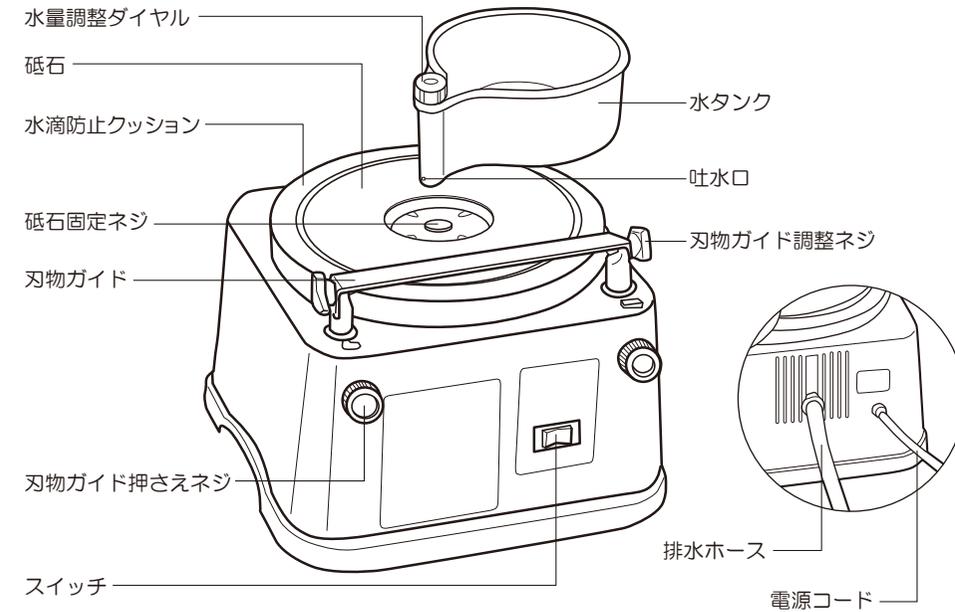
- 電源が離れていて延長コードが必要なときは、最高の能率でご使用いただくために、十分な太さのコードを、できるだけ短くご使用ください。
- 使用するコードの太さ(公称導体断面積)と最大長さの関係(ご参考)

コードの太さ(導体公称断面積)	コードの最大長さ
1.25 mm ²	15 m
2.0 mm ²	20 m

用 途

- 刃物研磨
 - 包丁(菜切、文化、牛刀、刺身、出刃、ペティ)
- ※セラミック製の包丁は砥石より固いため本機で研ぐことは出来ません。
- カンナ、ノミ、彫刻刀、ハサミ、各種工場や作業場の小型刃物など

部品の名称



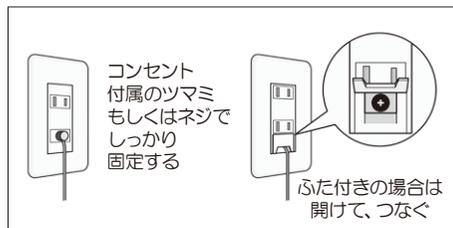
付属品の明細

刃物ガイド	水タンク	砥石取付けスパナ
中砥石 (#1000)	排水ホース	
取付け済み		

ご使用前の準備

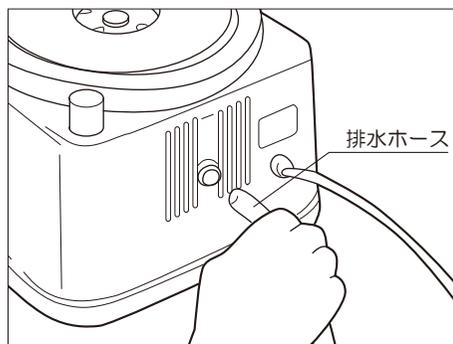
■アース(接地)について

- 感電防止のため、必ずアースをしてください。(右図参照)
- 爆発する恐れがありますのでアース線をガス管に接続しないでください。
- コンセントにアース端子が無い場合電気工事店に連絡してコンセントの交換工事を行ってください。
- 地中にアース棒やアース板を埋めてアース線を接続するなどのアース工事は電気工事士の資格が必要です。
- 漏電しゃ断器やアースについては次の法規がありますのでご参照ください。
漏電安全衛生規則 第333条・第334条
電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条



■排水ホースの取付け

- 本機の排水は背面の排水ホース取付け口から行います。
 - 付属の排水ホースを排水ホース取付け口に差し込み、排水ホースの先から出る排水は洗面器などの受け皿で貯めるようにしてください。
- 注排水ホースが抜けるのを防ぐため取り付け口に対して排水ホースが太くなっています。差し込む際は排水ホース先端を指でつぶして奥まで押し込んでください。



■砥石の事前準備

- 砥石は水に浸すことで砥石内の空気に代わり水が浸透していきますので、気泡が出なくなるまで水に沈めて浸してください。
- 内部まで水が浸透することで研磨効率が良くなる上に砥石も長持ちします。
- 水は汚れていない水道水を使用してください。

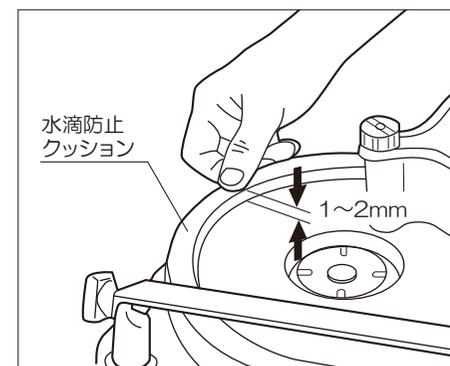
■水タンクの取付けと調整

- 本体上部の水タンク取付け位置(支柱)に水タンクを差し込んで取付けてください。
- 吐水口を砥石の内周に近づけて水を垂らし、垂れた水が砥石の回転の遠心力で外側に広がっていくようにしてください。
- 水タンクの8分目くらいまで水を入れたら水量調整ダイヤルを回して吐水口から出る水量を調整してください。水の量が多いと研磨に必要な研ぎ汁が流れてしまいます。吐水の目安は1秒間に1滴程度です。
- 水タンクの水量が少なくなると吐水が止まりますのでその時は水をつぎ足してください。



■水滴防止クッションの調整

- 水滴防止クッションは研磨の際の水はねが周辺に飛び散るのを防ぐと同時に万が一、砥石が破損したときの破片をガードする役割もありますので外さず使用してください。
 - 手でつまんで上下の調整ができますので砥石表面より1~2mm高い位置に合わせてください。
- 注水滴防止クッションはスポンジ製ですので研磨中に刃物が触れても刃物を傷つける事はありません。



■刃物ガイドの調整

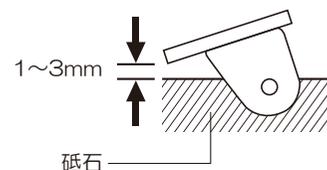
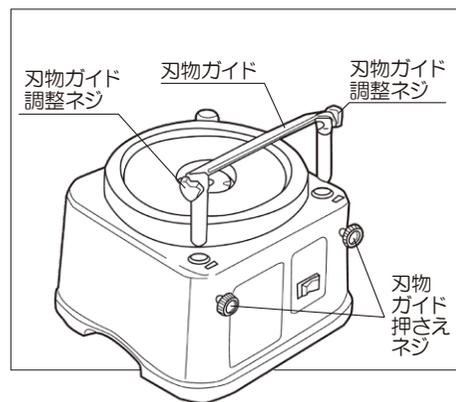
●刃物ガイドは研磨作業中、刃物を乗せることで研磨作業が安定する役割があります。刃物に合わせて高さや角度を調整してください。

●高さの調整は刃物ガイド押さえネジをゆるめて行います。高さが決まったら押さえネジを締めて固定してください。

●角度の調整は左右の刃物ガイド調整ネジをゆるめて行います。一般的な包丁の場合は刃物ガイドと砥石の間隔は1～3mmが適当です。

ⓧ作業中に刃物ガイドが動くと大変危険です。作業中は刃物ガイド調整ネジや刃物ガイド押さえネジをしっかり固定してください。

ⓧ本機に付いている刃物ガイドは包丁用です。それ以外の刃物には合いませんのでその場合は刃物ガイドを外して使用してください。



ご使用方法

■スイッチについて

●スイッチの左側を押すと電源ONで砥石が回転し始めます。スイッチの右側を押すと電源OFFで砥石の回転が止まります。

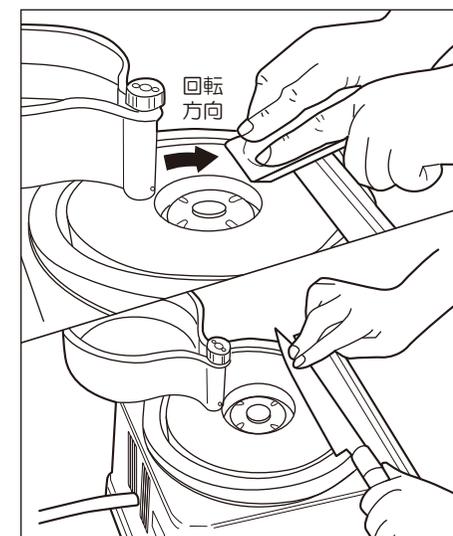
ⓧ電源をOFFにしても砥石の回転はすぐに止まりません。モーターに負荷が掛かるので無理に回転を止めないでください。

■砥石の回転方向について

●砥石は時計回りで回転しているため、砥石の右側に刃先を置くと刃先に向かって砥石が向かってくる形になります。砥石の左側に刃先を置くと刃先から砥石が離れていく形になります。

●初めて使う方や、刃物とぎに慣れていない方は最初は砥石の左側で研いでください。慣れてきたら砥石の右側で研いだ方が刃先への抵抗が大きい分、カエリが少なく綺麗に研げます。

ⓧ長い包丁などは砥石の両側に包丁を置く感じで砥石全面を使って研いでください。



■研磨方法

- 回転する砥石に水を垂らして砥石表面に水が残るようになったら静かに刃物を乗せて、軽く砥石に押しつけるようにして研いでください。

Ⓢモーターに負荷が掛かり故障の原因になるので刃物を強く押しつけすぎないでください。具体的には砥石の回転が遅くなるのは刃物を押しつけすぎです。

- 刃先全体が一通り研ぎ終わったらスイッチを切り水量調整ダイヤルを回して吐水口を閉めてください。

- 指先で刃先のカエリ具合を確かめてください。

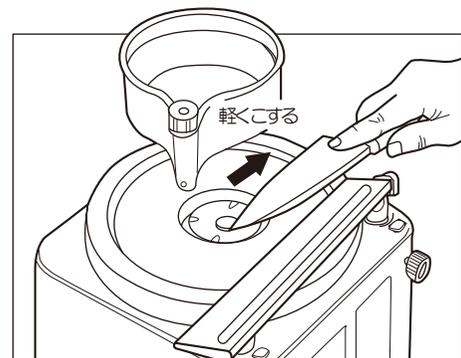
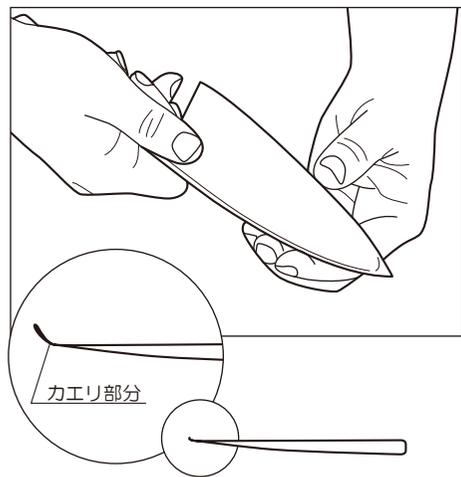
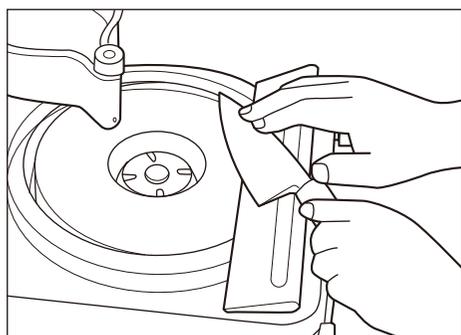
Ⓢ刃先で指先を切らないように注意してください。

- カエリがある時はカエリがある面を回転を止めた砥石の表面で軽くこすってカエリを削ってください。

- 刃先を確認してカエリが無くなれば研磨作業は完了です。

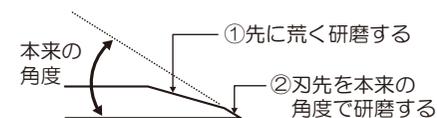
■作業時間について

- モーター焼けによる故障を防ぐため、定格使用時間20分は必ず守ってください。20分使用した後はモーターを冷却するためスイッチを切り作業を止めて20分ほど休ませてください。
- 定格時間以内の使用でもモーターへの負荷が高いと温度ヒューズが作動して自動的に回転が止まることがあります。この時も同様に本機を休ませてください。



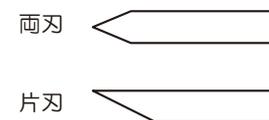
■刃先角度について

- 研磨作業の際、あらかじめ本来の角度より鋭角で荒く研磨してから刃先を本来の角度で研磨すると、より鋭い刃がつけます。



■刃物の種類

- 刃物には片刃と両刃があります。片刃を両側から同じように研ぐと切れ味が悪くなります。また、両刃を片側から研いでも切れ味は良くなりません。両側から均等に研いでください。



●包丁の刃先形状（刃先の形状に合わせて刃研ぎをしてください）

種類	菜切包丁	牛刀	刺身包丁	出刃包丁
形状				
名称	両刃	両刃	片刃	片刃
刃研ぎの方法	●刃の角度に合わせて、両面同じように研いでください。		●刃先の角度のついている面を角度に合わせて研いでください。 ●裏面のカエリは砥石の回転を止め、刃物の裏面全体を砥石に当て、軽く引くようにこすってとります。	

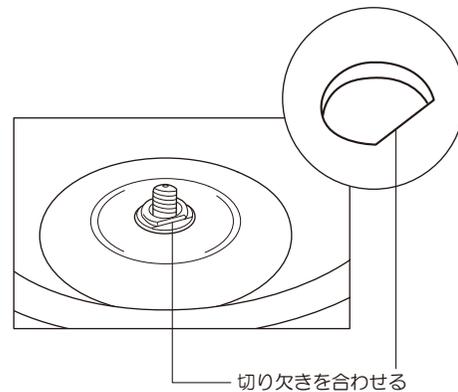
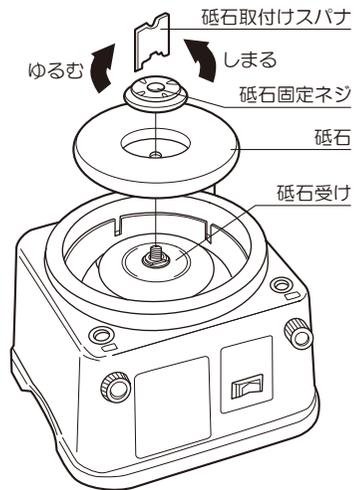
■砥石の交換方法

⚠ 警告

- 砥石交換のときは不意の起動による事故を防ぐため、あらかじめスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。異常があると砥石が破損し、けがの原因になります。

- あらかじめ水タンクと刃物ガイドを外しておきます。
- 砥石が動かないように手で押さえながら付属の砥石取付けスパナで砥石固定ネジを回して外したら砥石を外してください。
- 砥石の取付けは取り外しと逆の手順で行います。その際、砥石受けの切り欠き部分と砥石の切り欠きをしっかり合わせてください。

☞ 砥石固定ネジがゆるいと隙間から水が内部に入って故障の原因になりますのでしっかり締めてください。



保守、点検について

⚠ 警告

- 保守、点検、部品交換等のお手入れの前に電源プラグを必ず電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。

■使用後の手入れ

- 本機は防水構造ではありません。水気が残ったままにしているとモーターが錆びる原因になるので使用後は必ず乾いた布やウェス等で水気と汚れを拭き取ってください。
- 揮発性の溶剤やガソリン、シンナーなどの引火性の液体で汚れを落とさないでください。
- カビの発生を防ぐため、使い終わった砥石や水滴防止クッションは水で洗った後、風通しの良い場所でよく乾かしてから保管してください。
- 砥石の表面がでこぼこになったら市販の砥石ドレッサーなどを使用して砥石表面を平らにしてください。

■保管について

- 直射日光が当たらない、風通しの良いところに保管してください。
- 特に湿気があるとモーターが錆びる原因になりますのでなるべく乾燥した場所で保管してください。
- お子様の手が届く場所や簡単に持ち出せる場所には保管しないでください。

よくあるご質問

動かなくなったのですが

- 電源プラグが抜けていないか確認してください。
- プラグを直接コンセントに接続して動いた場合は延長コードが原因です。延長コードが長すぎたり、ドラム式でコードを巻いた状態ですと電圧不足で動かない場合があります。
- 刃物を強く押しつけたり定格時間を越えた使用では過負荷による温度上昇によりモーターが止まる事があります。再度使用する場合は少し時間をおいてモーターを冷ましてから使用してください。
- 夏場は外気温が高いぶんモーターが熱くなるのが早いので使用時間も短くなります。
- 上記のいずれにも当てはまらない場合は故障の可能性もあります。お買い求めの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

使用中に砥石の回転が遅くなります

- 必要以上に刃物を押しつけると砥石の回転が遅くなります。砥石の回転が遅くなるほどの力は必要ありません。刃物も砥石も早く減るばかりか本機の故障の原因にもなりますので刃物は押しつけ過ぎないでください。

刃物ガイドを外しても大丈夫ですか？

- 刃物ガイドは文字通り刃物を砥石にあてる際の補助部品です。本機の使用に慣れてきたら外しても構いません。

セラミック包丁は研げますか？

- セラミックは砥石より固いためセラミック製の包丁を本機で研ぐことはできません。

砥石が削れて表面に凹凸ができましたがどうすれば良いですか？

- 砥石表面が平らでないと刃物を研ぐことはできません。砥石表面が削れてきたら定期的に市販の面直し砥石もしくは修正砥石を用いて表面を平らに慣らしてください。

砥石に水道から直接水をかけても大丈夫ですか？

- 構造的には大丈夫ですが、水の勢いが強いと研ぎ汁がすぐ流れてしまいます。研ぎ汁は砥石が削れて出てくる微細な粒子を含んだ液体で、本機は研ぎ汁で刃物を研磨する構造となっております。そのため出来るだけ研ぎ汁は流れずに砥石表面に滞留している方が望ましいので、なるべく付属の水タンクをご使用ください。

水をかけないで使うことはできますか？

- 本機の砥石は水研ぎ専用ですので必ず使用前に濡らして砥石内部に水を浸透させてから使用してください。また使用中も遠心力で水が抜けていきますので常に水を垂らしながら使用してください。

砥石はどれくらい水に浸せば良いのですか？

- 水に浸すことによって砥石内の空気の代わりに水が浸透していきます。ですので完全に気泡が出なくなるくらいまで浸してください。こうすることで砥石の硬さが均一になり研磨効率が良くなる上に砥石もより長持ちします。

市販の砥石やダイヤモンド砥石は取付け出来ますか？

- 本機に取付け出来るのは本機専用の砥石3種類（荒砥石、中砥石、仕上げ砥石）だけです。

使用中、急に砥石が止まったのですが

- 本機には温度ヒューズが付いており、モーターが熱くなると強制的に電流をカットします。定格時間を超えて使用したり、刃先を押しつけて負荷を掛けすぎると温度ヒューズが作動して回転が止まる事があります。このようなときは一度スイッチを切り電源プラグを抜いて20分ほど休ませてください。